

令和元年度 船員安全・労働環境取組大賞・特別賞  
受賞者一覧

船員安全・労働環境取組大賞

受賞者	部門	取組の名称	取組の概要及び選定理由
宮崎カーフェリ(株) (宮崎県宮崎市)	労働災害 防止	暑さを「見える化」 した熱中症対策	<p>【概要】 熱中症による労災事故が発生したことを受け、熱中症対策を見直し、新たな取組を実施。 それまで、職長の感覚的な判断に委ねられていた、休憩や水分補給のタイミングを暑さ計測器の危険指数を基準とした。 また、注意喚起ポスターを刷新し、「爪」「尿」「防災アプリ」等による熱中症のチェック方法を示し、自ら測定する楽しさと興味を持たせる内容に工夫した。 「冷却ファン付きつなぎ服」の導入の声が上がる等、熱中症に関する乗組員の議論も活発となっており、引き続き取組を進める。</p> <p>【選定理由】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 実際に発生した災害事案を迅速に改善に結びつけていること。</li><li>• 計測器の導入とポスターによる注意喚起等を組み合わせ効果を上げていること。</li><li>• 社会的関心も高く、他社でも導入しやすい取組であること。</li></ul>

## 船員安全・労働環境取組特別賞

受賞者	部門	取組の名称	取組の概要及び選定理由
(株)アズーロジャパン (東京都港区)	健康管理	休息時間の有効活用	<p>【概要】 内航タンカー船では、不規則な荷役業務のため、休息時間が細切れに分割されるとともに、居室内では航海中、停泊中ともに主機、発電機の回転音が発生し、睡眠の妨げとなっている。 これを解消し、短時間の休息時間でも、良質な睡眠を取り、疲労回復が図れるよう、船内環境の向上を図った。 具体的には、居室内の騒音を軽減する「ホワイトノイズマシン」及び就寝中の肩や腰にかかる負担を軽減する「ハイブリットマット」を全船全室に導入した。 導入後は、疲労回復の効果が上がっている。</p> <p>【選定理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>船員のアンケートでも、疲労が十分に回復できない理由として「休息時間の分断」という回答が最も多く、その課題に対応した取り組みであること。</li> <li>睡眠を改善するという視点はこれまでになく、船内環境の改善に資する先進的な取組であること。</li> <li>他社でも導入しやすい取組であること。</li> </ul>
日本郵船(株) (東京都千代田区)	安全運航 (労働災害防止)	機関整備中の人身 事故防止及び機関 データ活用	<p>【概要】 エンジンの燃焼室内部の状態を自動撮影し、診断するソフトウェアを独自開発。 その結果、画像データによる事故の予兆や不具合原因の早期特定が可能となり、安全運航につながっているだけでなく、乗組員の高温環境下での長時間に及び点検が不要となったほか、内部撮影時の人身事故防止にも効果が上がっており、乗組員の労働支援や災害防止にもつながっている。 実際に、機関関連事故も減少傾向にある。</p> <p>【選定理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>単に既存の装置を購入するだけでなく、独自に開発を行っていること。</li> <li>Mゼロチェック、エンジンメンテナンスの労務負担軽減など、将来的な取組が行われていること。</li> <li>安全運航だけでなく、労働災害防止にもつながる取組であること。</li> </ul>



MUST-SEAL

Miyazaki Car Ferry  
宮崎カーフェリー株式会社

# 2018年 暑さを「見える化」した熱中症対策①

## 暑さ指数 (WBGT) 測定器の導入

各船船長 様

業務連絡  
平成30年8月11日

海務部長

「熱中症対策」暑さ指数(WBGT)測定器について

暑暑の中、熱中症対策にご協力いただき感謝致します。  
今回は「暑さ指数測定器」についてご案内致します。WBGTとして表現される暑さ指数については、昨年来、耳にされていることと思います。暑さ指数は、湿気を帯びた日本特有の「暑さ」により、気温だけで熱中症の危険性を判断することは難しく、気温に比べ湿度・日射・輻射・風の要素を取り入れ、熱中症に罹る可能性について高熱下の労働・運動時の予防措置に用いられている指標です。

この指標について、目の前の状況がどういった状態であるのか、リアルタイムで測定できる測定器を、NHK防災アプリなどのコンテンツと併用して作業運用の参考にしたいと考えております。既に、各船1台ずつ納品しておりますが、新たにもう1台ずつ納品予定としております。

つきましては下記概要に沿った運用をお願い致します。

記

- 1) 商品名:「パーソナル快適チェッカー」PC-7960GTY
- 2) 支給日:平成30年8月15日(水)～※予定
- 3) 取扱管理:一等航海士(荷役用)・甲板長(作業用)
- 4) 運用方法:

➤ 荷役時、整備作業時の確認用(休憩の日安)

➤ 機関室・ギャレーなど高熱箇所での試験測定などの多目的運用(休憩の頻度・日安)

➤ 屋外作業時における紫外線の確認用 ※ 紫外線も測定可能のため

➤ 船内湿度の確認(冬の乾燥時、インフルエンザ・感染性胃腸炎の注意喚起)

以上

熱中症暑さ指数・季節性インフルエンザ  
指数・UVインデックス(紫外線強度)・温度・  
湿度が測定できる携帯型の環境チェッカー。  
各指数をバーとキャラクターで分かりやすく  
表示し、危険をアラーム機能で知らせる。  
各船に1台ずつ導入し、一等航海士(甲板部)  
管理とする。





# 2018年 暑さを「見える化」した熱中症対策② 注意喚起ポスター ～爪でチェック編～

掲示期間：7月～10月



## 熱中症を未然に防ごう

～爪で確認！セルフチェック！！～

「自分は大丈夫」「罹ったことがない」が一番キケン！  
爪の色の変化で体の状態を確認してみよう！



手の親指の先端を逆の手でつまむ

ピンク色に戻るのに  
3秒以上かかったら脱水症状の可能性アリ!!

